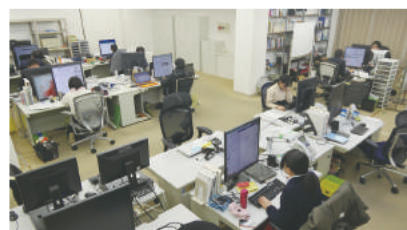


## 会社概要

会社名 サイトブリッジ株式会社  
所在地 〒770-0942 徳島県徳島市昭和町3-6-5 板東ビル2階  
TEL:088-611-5606 FAX:088-611-5607  
設立 2000年3月23日  
資本金 2,800万円  
代表取締役 貴田 秀資(きだ ひでし)  
従業員数 13名(男性8名、女性5名)  
株主 貴田 秀資(100%)  
メールアドレス info@sitebridge.co.jp  
Webサイト http://www.sitebridge.co.jp/



社内風景

## 会社外観



路線バス「昭和町三丁目」停留所すぐ  
JR四国牟岐線 阿波富田駅より徒歩10分

## 事業体制

ソフトウェア開発部 Joruriシリーズ、ZOMEKIのソフトウェア開発  
各種のWebシステムの受託開発  
自治体サイト向け検索システムの開発  
検索システム向け機械学習機能の開発

サイト制作部 Joruri CMSおよびZOMEKIを利用したWebサイト製作  
導入したCMSの問合せ対応

ネットワーク技術部 Joruriシリーズ、ZOMEKI導入時のサーバーおよびネットワーク構築  
導入したシステムのサーバーおよびネットワークの運用保守

総務経理部 経理処理、庶務対応

## 採用情報

■ Webプログラマー  
プログラミング言語Ruby利用した、「Joruri」、「ZOMEKI」の開発  
プログラミング言語Pythonを利用した、検索システム向け機械学習機能の開発  
「ZOMEKI」をベースとする各種Webシステム開発

■ Webクリエイター  
自治体公式ホームページの制作および制作ディレクション  
地域ポータル、子育てサイトなど公共系ホームページの制作および制作ディレクション  
「ZOMEKI」管理画面のHTML/CSS作成

■ Webデザイナー  
各種ホームページ制作でのデザイン作成  
自社開発プロダクトのパンフレット制作

■ ネットワークエンジニア  
「Joruri」、「ZOMEKI」が稼働するサーバーの構築および運用保守  
「Joruriクラウド」、「ZOMEKIクラウド」の運用  
サーバー管理自動化、ログ解析システムの開発

## 01 受託事業

自治体公式ホームページ制作  
地域ポータル開発  
公共Webシステム制作  
Joruri CMS、ZOMEKIによる  
Webサイト制作のサポート  
Joruri Gw(グループウェア)などの導入支援

## 02 自社開発

自治体向けWebアプリケーション  
→ 「Joruri」(ジョールリ)  
<http://joruri.org/>  
Web開発ワークスペース  
→ 「ZOMEKI」(ぞめき)  
<http://zomeki.jp/>

## 03 自社サービス

Joruri CMSのクラウドサービス  
→ Joruriクラウド  
自治体サイト検索サービス  
→ SITEBRIDGE Search  
<http://sitebridge.jp/>

# 沿革

Company history

## Joruri(ジョールリ)

2008年、徳島県ホームページの再構築を当社が受注し、その際に開発したCMSを徳島県が「Joruri」と命名しました。その後、徳島県と当社はこのCMSの技術を活用して、共同で各種Webアプリケーションを開発し、県庁内に導入していきました。このとき開発した、CMS、グループウェア、Webメール、SNS、Vide管理システム、GIS、災害時情報共有システムなどの各種WebシステムをJoruriシリーズと総称しています。



## Ruby/Ruby on Rails

Joruri CMSを開発する際、当社ではそれまで利用していたPHPではなく、プログラミング言語としてRuby、アプリケーションフレームワークとしてRuby on Railsを採用しました。以後当社ではRuby/Ruby on Railsの開発環境でWebシステムを開発しています。Ruby on Railsのメジャーバージョンアップの際は、各種Webアプリケーションの修正が必要となり、そのタイミングでアプリケーションのメジャーバージョンをアップしています。



## オープンソースソフトウェア

徳島県ホームページの再構築の要求仕様書に、「開発したCMSはオープンソースソフトウェアとして公開すること」という仕様が記載されていました。2009年に徳島県ホームページをリニューアル公開したのち、翌年2010年にCMSをオープンソースソフトウェア (GPL v3)として公開しました。その後開発したグループウェア、Webメールなどのシステムも同様にオープンソースソフトウェアとして順次公開しました。ZOMEKI ver.3ではライセンスをMITとし、再配布を行いやすくしました。

## 自治体ホームページ

オープンソースソフトウェアとして公開したJoruri CMSは、自治体への導入数が全国2位(2015年度 日本広報協会調べ)となるまで普及しました。これに伴い当社の主力事業も、自治体公式ホームページの再構築となってきました。さらにJoruri CMSを普及させるため、2017年にJoruri CMS 2017を利用して、自治体のホームページ制作を基本部分については180万円で承るサービスを開始しました。



## ZOMEKI(ぞめき)

2012年にJoruri CMSの派生バージョンをZOMEKIとして公開しました。Joruri CMSはシンプルでわかりやすいのが特徴ですが、地域ポータルなど自治体公式サイト以外のサイトを構築するには少し機能が不足していました。このためカテゴリの分類機能や記事一覧の表示機能などを大幅に強化し、派生バージョンZOMEKIとして開発していくこととしました。最新版のZOMEKI Ver.3では、毎週新しいバージョンをリリースするスタイルで開発を進めています。



## 機械学習

2017年、当社の自社サービスとして「自治体サイト検索サービス」(http://sitebridge.jp/)を公開しました。全国の自治体サイトの記事を分野や組織で絞り込んで検索できるサービスを目指し日々改良を行っています。それぞれの検索条件にて最適なキーワードを選べるように、機械学習を組み込みキーワードの候補を自動生成しています。今後は深層学習を導入し、ユーザーが希望する記事を表示する機能を追加する予定です。



# 事業ビジョン

Business vision

## 自社開発から自社サービスへ

当社はJoruriシリーズやZOMEKIの自社開発を行っています。今後は自社サービスの提供に注力します。2017年に全国の自治体ホームページの記事を便利に検索できることをめざし、「SITEBRIDGE Search」(http://sitebridge.jp/)を公開しました。検索システムに機械学習の機能を組み合わせ、自治体ホームページの記事を効率的に検索する方法を開発します。

## 機械学習機能の組み込み

現在はWebサイトの日本語テキストを機械学習で処理し、特徴語の抽出や自動分類を行い、全文検索システムと組み合わせることにより、検索の利便性を向上させる開発を行っています。次のステップとしては、グループウェアやWebメールのシステムに機械学習の機能を適用し、各種の判断処理を自動化する開発を行いたいと考えています。

## Joruriシリーズの再構築

2010年にオープンソースソフトウェアとして公開したJoruri CMSは、2017年に大幅な機能改善を行い、Joruri CMS 2017という新しいプロダクト系列として全面的な再開発を行いました。Joruri Gw(グループウェア)、Joruri Mail(Webメール)、Joruri Plus+(SNS)、Joruri Maps(GIS)についても再開発を行い、これらすべてのプロダクトを統合したパーソナル・ワークスペース・マネジャー(仮称)として再構築します。ひとつのWebアプリケーションで管理画面からの設定により、グループウェアやSNSを構築でき、このシステムにおいてはWebメールのデータをシームレスに扱え、地図へのデータマッピングが行えるシステムとなります。

